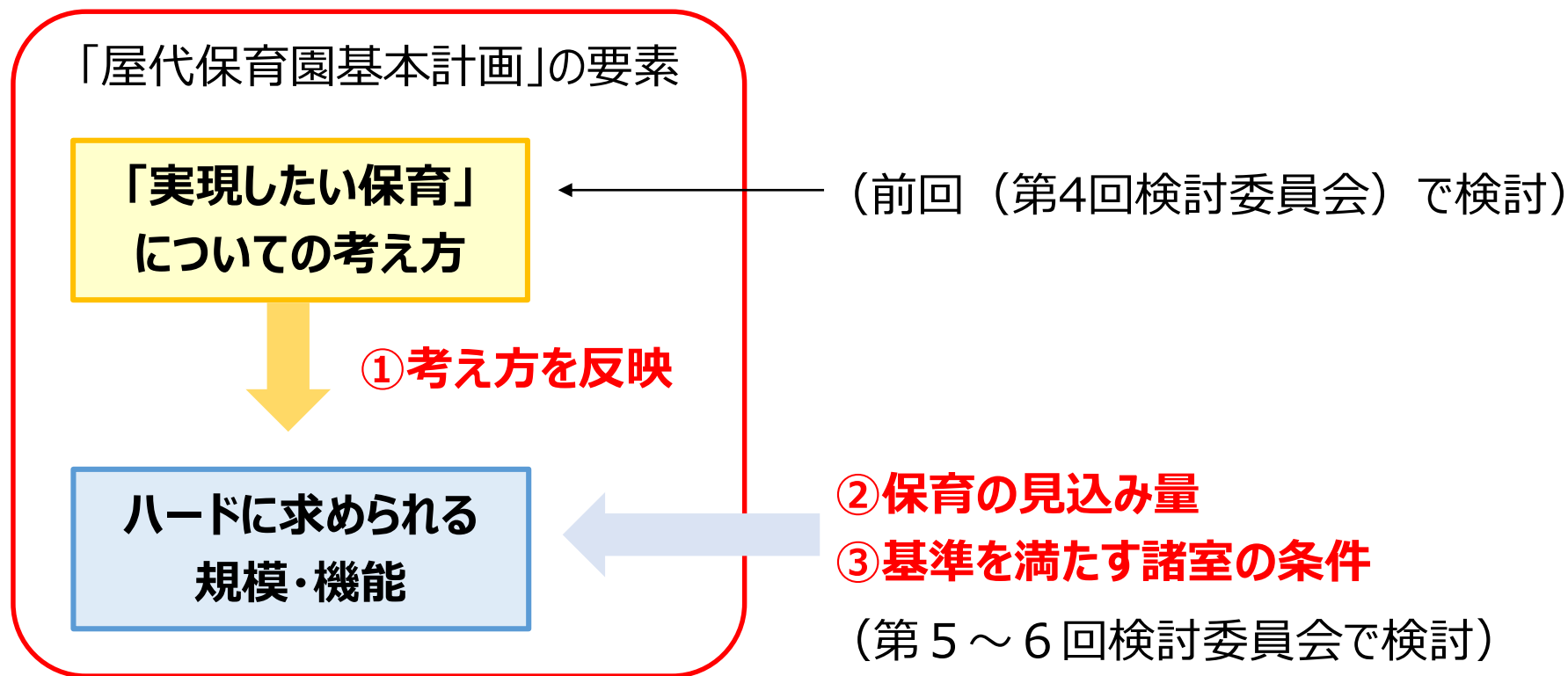


新しい屋代保育園の規模・機能を 検討するための前提

- ①「実現したい保育」の考え方
- ②保育の見込み量
- ③基準を満たす諸室の条件

前提（「基本計画」の要素）

新しい屋代保育園の設計についての考え方をまとめる「基本計画」には2つの要素があります。



<屋代保育園で実現したい保育>

①多様な体験や交流を通じ、園児ひとりひとりの自主性・協調性を培う

②様々な用途に対応できる空間で、多様な保育ニーズに対応する

③自然なコミュニケーションを通じて、家庭や地域と連携する

<新しい施設を整備する際の方向性>

○ひとりひとりの興味から自主的活動を引き出す空間

園児ひとりひとりが居場所と「したいこと」を見つけ、それが次の遊びにつながり、これを保育士が見守ることができる

○様々な自然に身体で触れ、体験できる空間

均質でなく多様・凹凸ある自然環境（木々、草花、築山や水辺など）を通じ、身体を使ってできる体験を提供できる

○オープンで行き来の自由な空間

個々の部屋に閉じこもらず、クラスを超えた子ども同士の自由な交流を促し、関わり方や協調性を育むことができる

○可動性・汎用性がある様々な使い方に対応できる空間

発達障害などへの配慮や緊急・臨時の対応ができるよう、施設の空間に汎用性・可動性があり、様々な用途ができる

○保育士と親のコミュニケーションを促進する空間

送り迎え等の機会に、保育士と親、または親同士がコミュニケーションしやすい環境をつくり、家庭の子育てと連携しやすくなる

○その他の要件等

管理のしやすさ

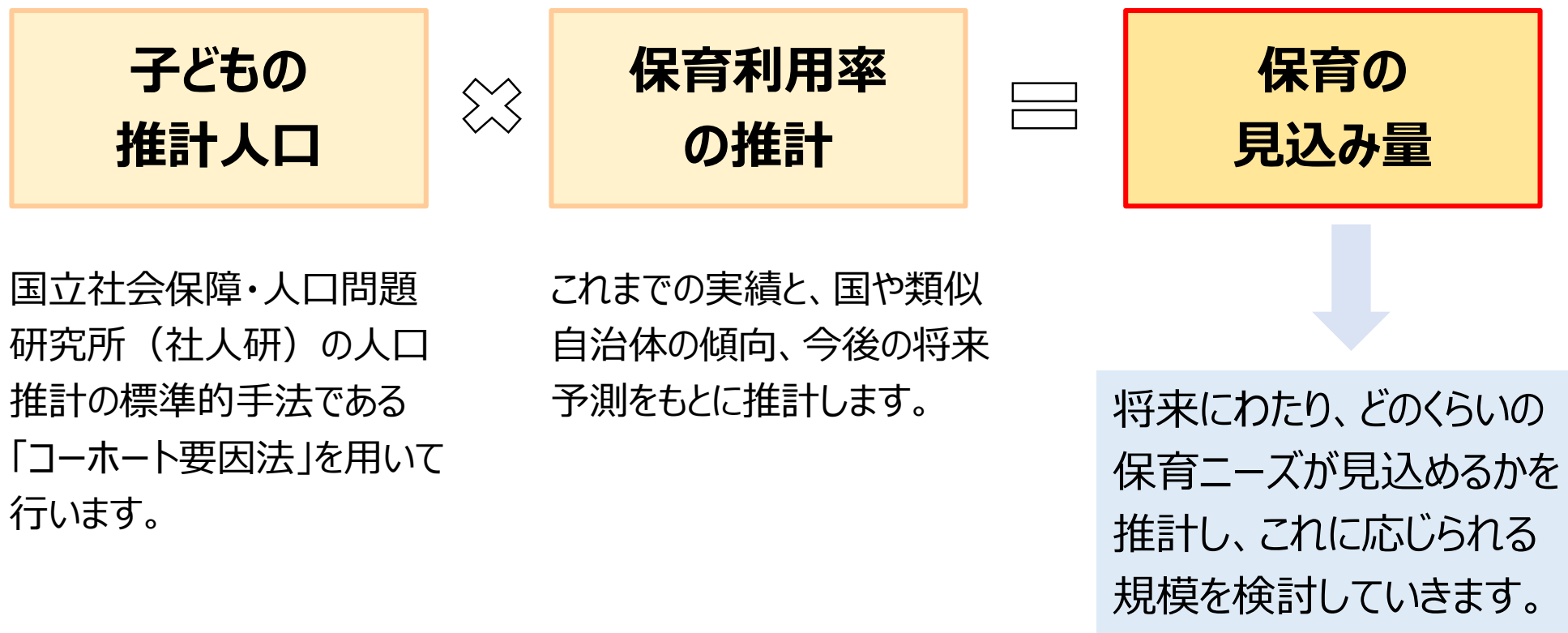
避難所としての機能

地域との関わり

② 「保育の見込み量」とは

「保育の見込み量」とは、長い将来を見据えたとき、保育園でどのくらいの子どもの預かるかという見込みです。保育の定員として設定し、この定員に対応できるハードを考えることになります。

算出する方法は以下のとおりです。



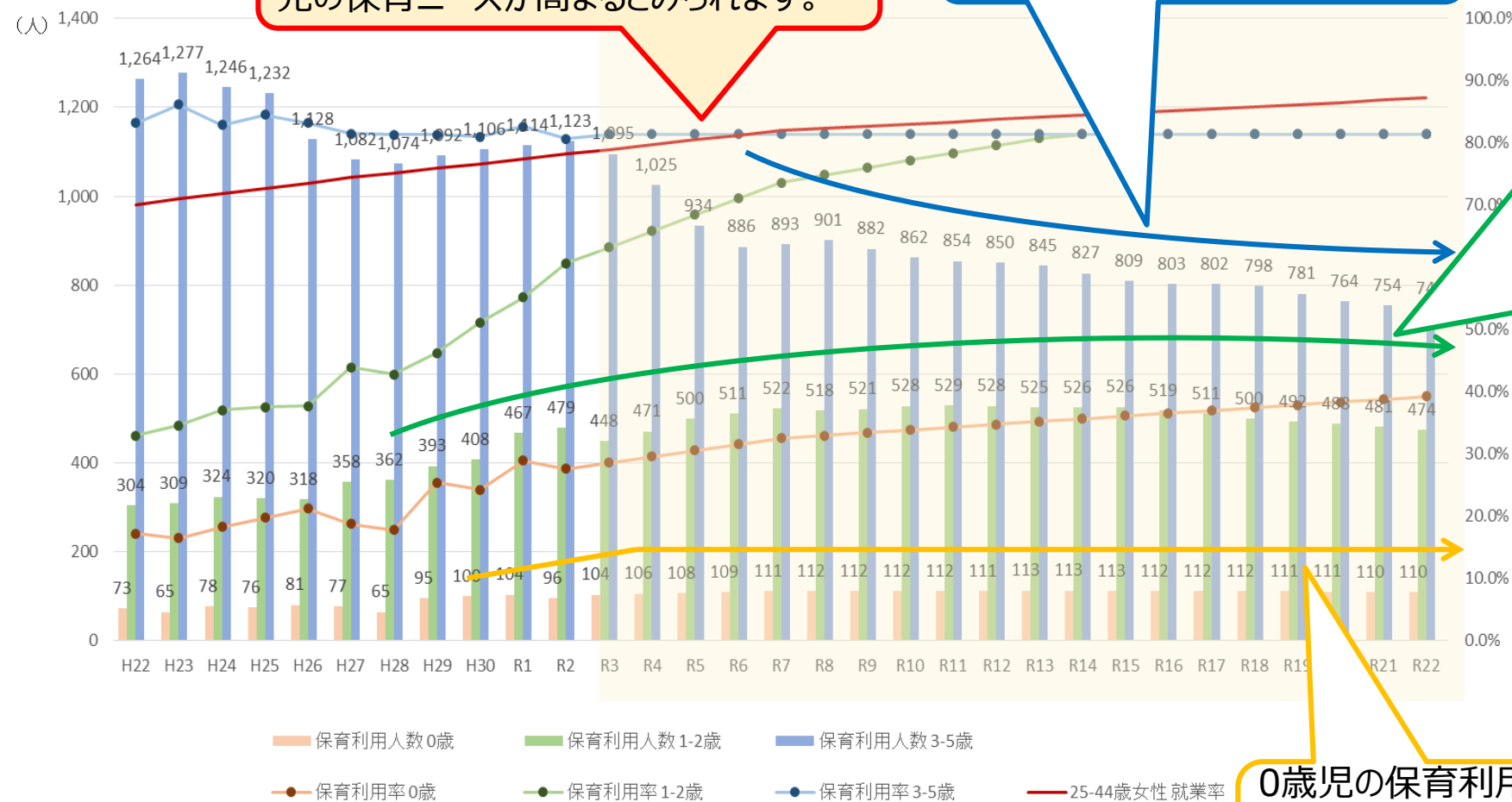
1) 千曲市全体の保育の見込み量

女性就業率が上昇見込みで、3歳未満児の保育ニーズが高まるとみられます。

3-5歳児の保育利用人数は、人口と共に減少する見込みです。

1-2歳児の保育利用人数は上昇、のちゆるやかに横ばいへ移行の見込みです。人口は減るものの利用率増加が予想されるためです。

0歳児の保育利用人数は、上昇したのち横ばいへ移行する込みです。



2) 屋代・東・埴生圏域での保育の見込み量

保育の見込み量を考えるとき、近隣の保育園も含めて考えることが重要になります（ひとつの保育園が定員オーバーしても、近隣の園でカバーし、地域全体として必要な保育ニーズに対応していくこと）。

そこで、ここでは屋代・東・埴生圏域全体としての見込み量を整理します。

◆圏域全体の定員

	圏域全体の定員の合計（人）
0歳	63
1-2歳	196
3-5歳	593

◆これまでの実績

	利用人数										
	実績値										
屋代・東・埴生	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
0歳	44	35	52	36	43	44	35	54	54	51	55
1-2歳	148	154	156	165	176	195	188	193	196	240	241
3-5歳	632	611	589	581	548	570	577	572	564	541	555

※定員の1.2倍を超える場合、セルを赤く表示

◆これからの見込み



保育の見込み量

推計値(子どもの人口×保育利用率)

屋代・東・埴生	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
0歳	66	68	70	71	73	73	73	74	73	73	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74
1-2歳	190	210	244	244	243	239	238	239	236	232	227	224	223	220	217	212	210	210	207	204
3-5歳	434	397	359	349	363	387	379	371	367	365	363	355	347	343	342	338	331	324	322	322

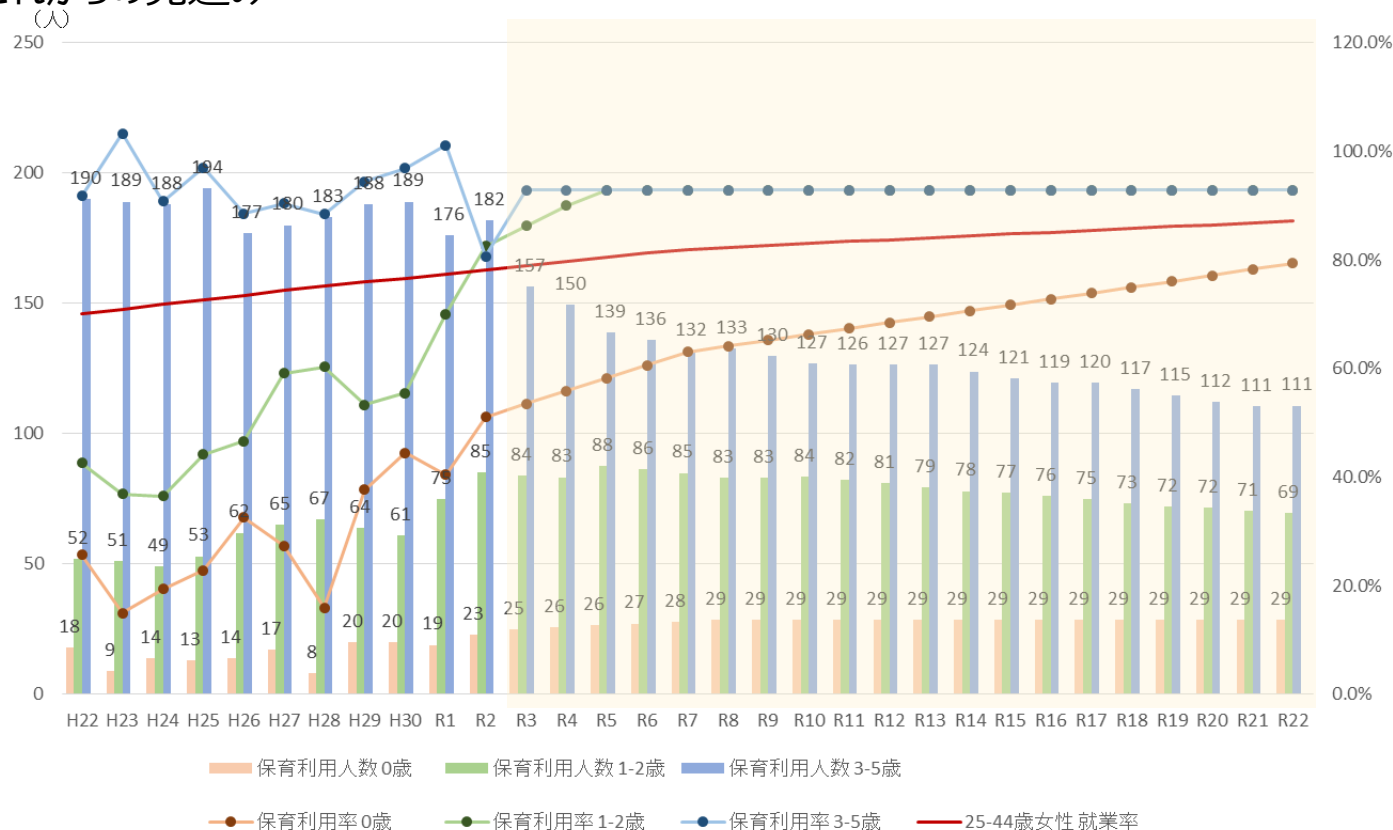
- ・0歳児が増加していますがぎりぎり定員1.2倍以内、1-2歳児は1.2倍以上に増加見込み
- ・3-5歳児は減少していく見込み

3) 屋代小学校区での保育の見込み量

◆現在の定員と最新年度の実績

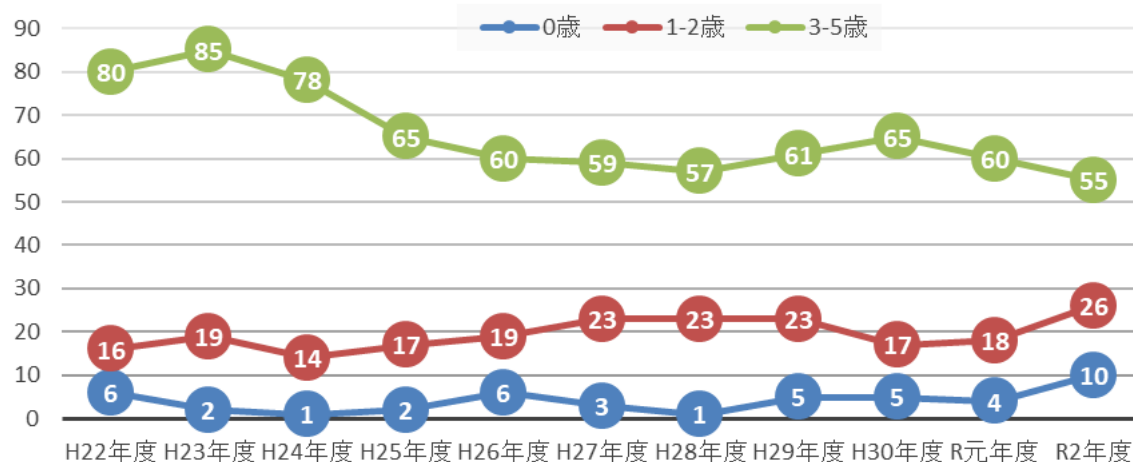
小学校区	保育施設		令和2年度実績						定員(R2年度時点)		
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1-2歳	3歳以上
屋代小学校区	公立保育園	屋代保育園	10	12	14	14	15	26	5	20	75
	私立保育園	あかね保育園	6	12	18	28	29	27	6	22	72
		満照寺保育園	7	12	17	14	14	15	5	15	40
	認可外保育施設	千曲中央病院 院内託児室								12	
	計		23	36	49	56	58	68	16	69	187
			23	85		182					

◆これからの見込み



小学校区単位でも、年度ごとの変動はありますが、概ね千曲市全体・屋代・東・埴生圏域での傾向と同様です。

4) まとめ



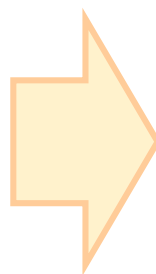
屋代保育園の
これまでの預かり実績

屋代・東・埴生圏域の「保育の見込み量」は長期的にはゆるやかに減少するとみられますが、当面は大きく変わらず、施設は現状規模を維持する必要があります。しかし年齢内訳では3-5歳児が減少する一方で、0歳と1-2歳児が増加する（特に1-2歳児が増える）と見込まれます。

新保育園の定員は、全体規模を維持しつつ、年齢ごとの変動に対応できるよう、以下のように設定します。

◆
現状の
定員

	定員
0歳	5人
1-2歳	20人
3-5歳	75人 (1学年25人)
合計	100人



◆
新保
育園
の定
員

	定員
0歳	10人
1-2歳	30人
3-5歳	60人 (1学年20人)
合計	100人

③ 基準を満たす「諸室の条件」

保育園にはどのような部屋・機能が求められるかについては、国の定める「児童福祉施設最低基準」としてまとめられています。

◆「児童福祉施設最低基準」（一部）

保育室（乳児室またはほふく室）

……【0、1歳児】乳児室：1.65㎡/人以上、ほふく室：3.3㎡/人以上
【2歳児以上】保育室または遊戯室：1.98㎡/人以上

運動スペース（屋外遊戯スペース）

……【2歳児以上】屋外遊技場：3.3㎡/人以上

遊戯室

便所

調理室

設置することが必要

<新しい保育園の「諸室の条件」>

	室名	対応する主な「実現したい保育」の考え方		現状	条件等
保育空間	A.保育室 (乳児室またはほふく室)	○オープンで行き来の自由な空間 ○可動性・汎用性がある様々な使い方に対応できる空間	0歳児室	約50㎡	定員10人:29.7㎡以上
			1歳児室	約50㎡	定員30人: 1学年35.6㎡以上
			2歳児室	約50㎡	
			3歳児室	約50㎡	
			4歳児室	約50㎡	定員60人: 1学年39.6㎡以上
			5歳児室	約50㎡	
	B.遊戯室	○ひとりひとりの興味から自主的活動を引き出す空間		約260㎡	
共通空間	C.食事のための空間	○可動性・汎用性がある様々な使い方に対応できる空間		約28㎡	
	C.半屋外空間	○オープンで行き来の自由な空間 ○ひとりひとりの興味から自主的活動を引き出す空間 ○保育士と親のコミュニケーションを促進する空間		(縁側など)	・雨天時の想定
	C.廊下、階段等			玄関や廊下の幅:2.5m	・送迎のスムーズな動線
	D.便所、水飲み場等			約29㎡	
外部連携	E.預かり保育室、子育て相談室等	○可動性・汎用性がある様々な使い方に対応できる空間 ○保育士と親のコミュニケーションを促進する空間		(余剰部屋 約50㎡)	・一時預かりへの対応 ・相談等への対応
管理空間	F.職員室、調理室等			事務室 約28㎡	・搬入路の確保
屋外	G.運動スペース (屋外遊戯スペース)	○ひとりひとりの興味から自主的活動を引き出す空間 ○様々な自然に身体で触れ、体験できる空間			・運動会用トラックの確保
	G.緑化スペース				・維持管理のしやすさ
	G.駐車場				・保護者15台、職員25台